

NY マーケットレポート (2014 年 10 月 15 日)

NY 市場では、序盤に発表された米小売売上高や、ニューヨーク連銀製造業景況指数がいずれも予想以上に悪化したことから、世界景気の先行き懸念が一段と強まった。また、米国で 2 人目のエボラ感染者との報道を受けて、感染拡大への警戒感も圧迫要因となり、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。その後、欧米の株価が大きく下落する動きとなったことから、投資家のリスク回避の動きが強まったことから、比較的安全資産とされる円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は大きく下落する動きとなった。ドル/円は、一時 105.20 まで下落し、9 月 8 日以来の安値を付ける動きとなり、豪ドル/円、ポンド/円は共に 3 月 17 日以来の安値を付ける動きとなった。しかし、その後は、米ダウ平均が安値から下げ幅を 280 ドル以上縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は引けにかけて値を戻す動きとなった。

2014/10/15 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	107.23	107.47	107.05
EUR/JPY	135.60	136.02	135.24
GBP/JPY	170.46	171.16	170.12
AUD/JPY	93.58	94.01	92.98
EUR/USD	1.2647	1.2662	1.2624

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	107.35	106.90
EUR/JPY	135.86	135.34
GBP/JPY	170.99	170.22
AUD/JPY	93.64	93.19
EUR/USD	1.2677	1.2638

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15073.52	+137.01
ハンセン指数	23140.05	+92.08
上海総合	2373.67	+14.20
韓国総合指数	1925.91	-3.34
豪ASX200	5245.61	+38.18
インドSENSEX指数	休 場	
シンガポールST指数	3198.72	+4.32

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6211.64	-181.04
仏CAC40	3939.72	-148.58
独DAX	8571.95	-253.26
ST欧州600	311.36	-10.17
西IBEX35指数	9838.50	-366.40
伊FTSE MIB指数	18304.99	-850.86
南ア 全株指数	46673.38	-1013.47

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	105.89	107.03	105.20
EUR/JPY	135.99	136.04	135.14
GBP/JPY	169.64	170.40	168.03
AUD/JPY	93.55	93.58	92.18
NZD/JPY	84.62	84.78	83.84
EUR/USD	1.2844	1.2888	1.2665
AUD/USD	0.8835	0.8861	0.8717

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16141.74	-173.45
S&P500	1862.49	-15.21
NASDAQ	4215.32	-11.85
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	13869.88	-166.80
ロシアボルサ指数	42984.95	-194.90
ロシアボベスバ指数	56135.27	-1880.19

10/16 経済指標スケジュール

09:00	【NZ】10月ANZ消費者信頼感指数
16:30	【スウェーデン】9月失業率
18:00	【欧】8月貿易収支
18:00	【欧】9月消費者物価指数
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
21:30	【カナダ】8月製造業出荷
21:30	【カナダ】8月国際証券取扱高
22:15	【米】9月鉱工業生産
22:15	【米】9月設備稼働率
23:00	【米】10月NAHB住宅市場指数
23:00	【米】10月フィラデルフィア連銀景況指数
05:00	【米】8月対米証券投資

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1244.80	+10.50
NY 原油	81.78	-0.06
CME コーン	347.50	-9.50
CBOT 大豆	952.50	-12.25

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.31%	0.37%
3年債	0.71%	0.80%
5年債	1.33%	1.45%
7年債	1.78%	1.88%
10年債	2.13%	2.20%
30年債	2.91%	2.96%

10/16 主要会議・講演・その他予定

- ・アトランタ連銀総裁 講演
- ・ミネアポリス連銀総裁 講演
- ・セントルイス連銀総裁 講演

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 107.93 ユーロ/円 135.48 ユーロ/ドル 1.2670

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6313.28	-79.40	ダウ INDEX FUTURE	16148	-107
仏 CAC40	4028.39	-59.86	S&P500 FUTURE	1858.80	-16.00
独 DAX	8717.54	-107.67	NASDAQ FUTURE	3781.50	-30.25

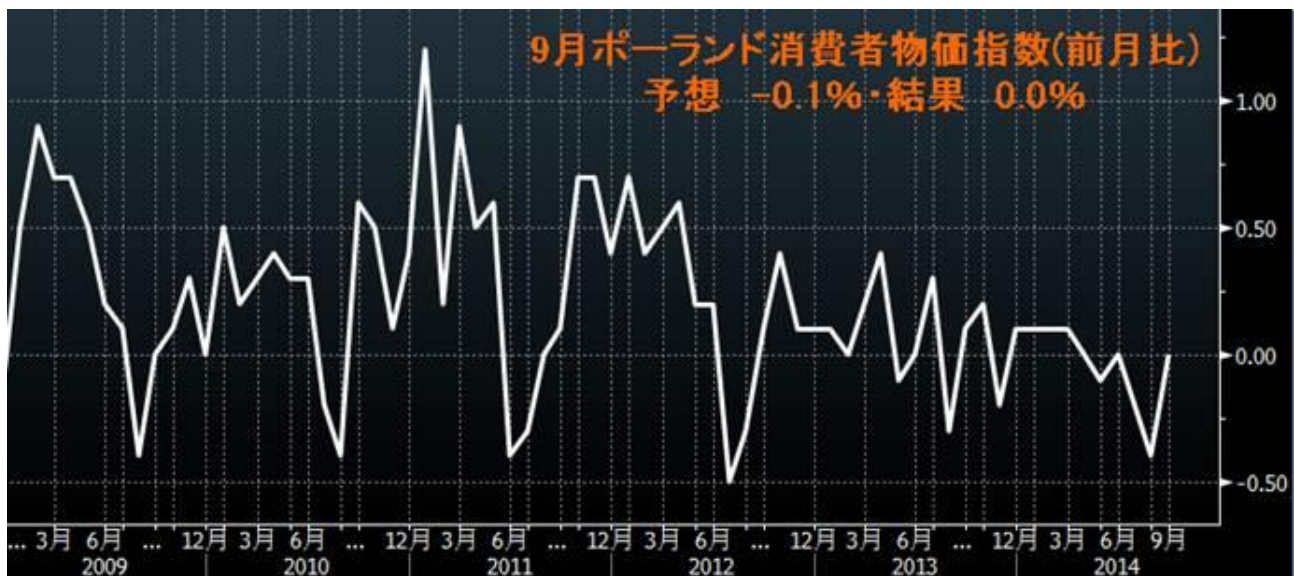
(出所: SBILM)

21:00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月ポーランド消費者物価指数(前月比) 0.0% (予想 -0.1%・前回 -0.4%)

9月ポーランド消費者物価指数(前年比) -0.3% (予想 -0.4%・前回 -0.3%)



(出所: ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米小売売上高(前月比) -0.3%(予想 -0.1%・前回 0.6%)

9月米小売売上高[除自動車] -0.2%(予想 0.2%・前回 0.3%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 米小売売上高 ▶

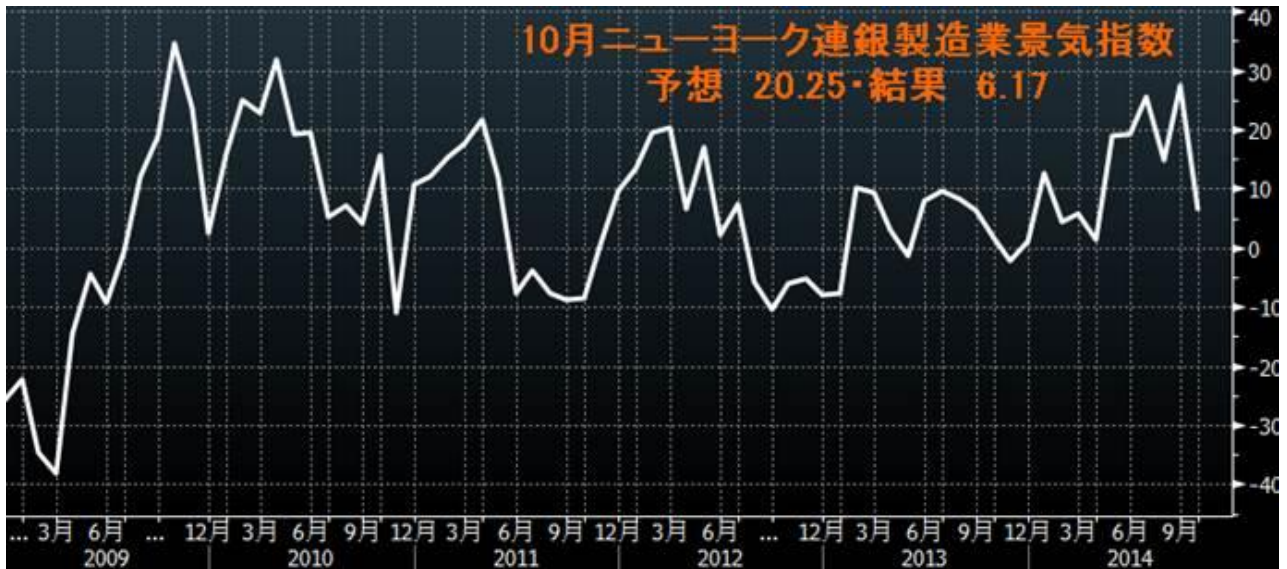
	9月	8月	7月	6月	5月	4月	前年同月
小売売上高	-0.3	0.6	0.3	0.4	0.4	0.6	5.8
除く自動車	-0.2	0.3	0.2	0.5	0.4	0.6	4.1
自動車・部品	-0.8	1.9	0.7	0.0	0.7	0.8	9.5
建設資材等	-1.1	0.5	-1.0	1.2	1.2	1.4	3.4
食品・飲料	0.0	0.4	-0.2	1.1	0.3	0.2	2.4
総合小売店	0.2	0.3	0.6	0.3	-0.5	1.3	2.7
大規模小売店	0.0	0.3	0.6	-0.5	-1.6	2.0	-0.8
その他小売店	-0.2	1.5	0.8	0.8	0.7	-1.3	2.2

(前月比%)

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

10月ニューヨーク連銀製造業景気指数 6.17 (予想 20.25・前回 27.54)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ NY連銀製造業景気指数 ▶

現状)

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
業況	6.17	27.54	14.69	25.60	19.28	19.01
仕入価格	11.36	23.91	27.27	25.00	17.20	19.78
販売価格	6.82	17.39	7.95	6.82	4.30	6.59
新規受注	-1.73	16.86	14.14	18.77	18.36	10.44
出荷	1.12	27.08	24.59	23.64	14.15	17.44
在庫	2.27	-7.61	-14.77	-3.41	9.68	2.20
雇用者数	10.23	3.26	13.64	17.05	10.75	20.88

6ヵ月先の見通し)

	10月	9月	8月	7月	6月	5月
業況	41.66	46.72	42.76	28.47	39.84	43.96
仕入価格	42.05	32.61	42.05	37.50	36.56	31.87
販売価格	26.14	32.61	21.59	18.18	16.13	14.29
新規受注	42.34	45.56	50.44	25.57	44.52	36.71
出荷	42.54	47.46	54.48	24.56	45.15	33.80
在庫	2.27	4.35	9.09	-4.55	6.45	-1.10
雇用者数	12.50	14.13	22.73	17.05	20.43	17.58

同指標はゼロが景況の分岐を示す

21 : 30

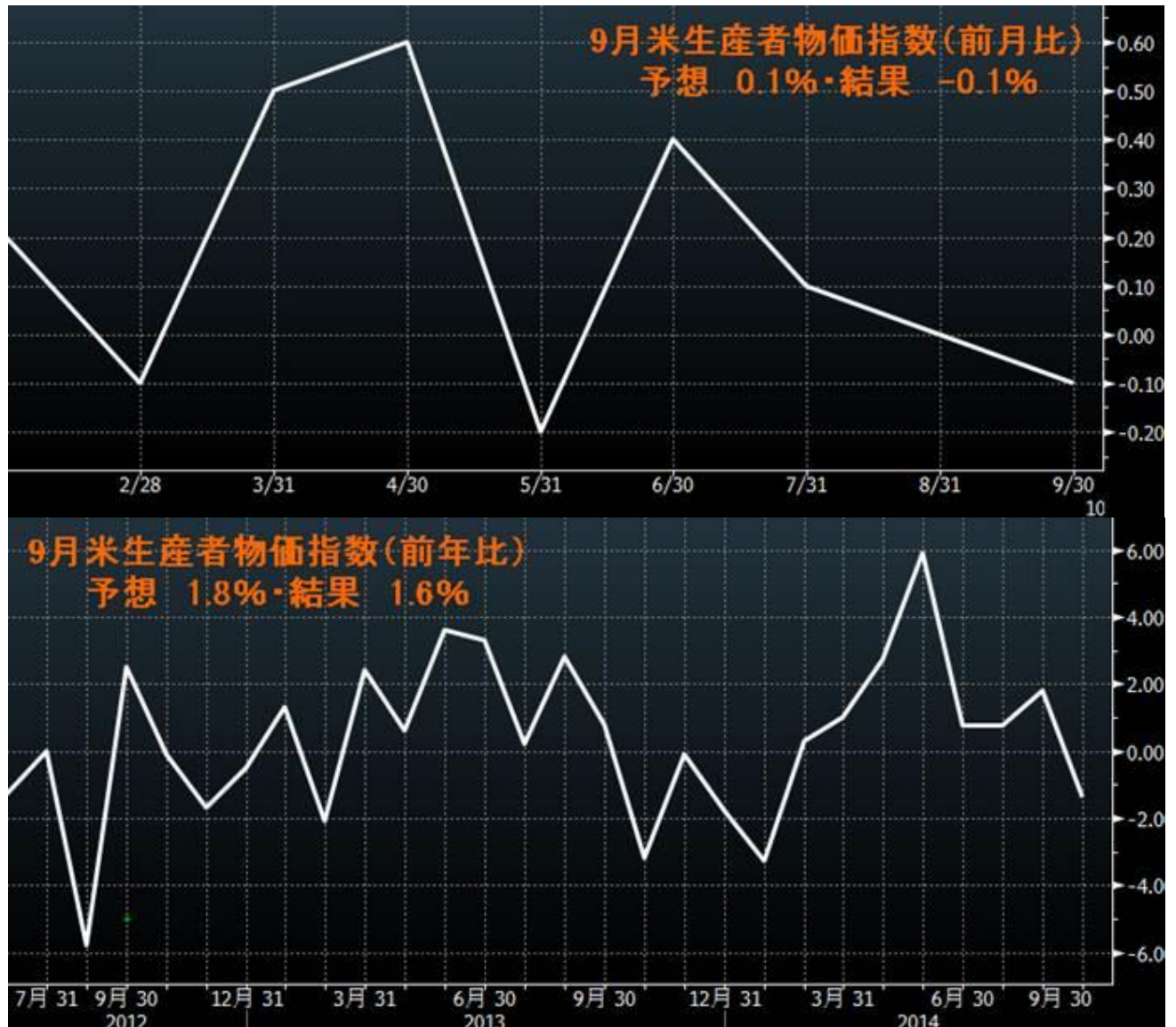
◀ 経済指標の結果 ▶

9月米生産者物価指数（前月比） -0.1%（予想 0.1%・前回 0.0%）

9月米生産者物価指数[コア] 0.0%（予想 0.1%・前回 0.1%）

9月米生産者物価指数（前年比） 1.6%（予想 1.8%・前回 1.8%）

9月米生産者物価指数[コア] 1.6%（予想 1.7%・前回 1.8%）



（出所：ブルームバーグ）

指標結果データ

◀ 生産者物価指数 ▶

	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月
完成品	-0.1	0.0	0.1	0.4	-0.2	0.6	0.1
除く食品・エネルギー	-0.7	0.0	0.2	0.1	0.0	0.3	-0.1
エネルギー全体	0.7	-1.5	-0.6	2.1	-0.2	0.1	-0.6
消費財	-0.2	-0.3	0.0	0.5	-0.2	0.6	0.1
サービス	-0.1	0.3	0.1	0.3	-0.2	0.6	0.1



(出所: ネットダニアー)

22:00

＜ 経済指標の結果 ＞

9月カナダ住宅価格指数 (前月比) 0.4% (前回 0.8%)

9月カナダ住宅価格指数 (前年比) 5.4% (前回 5.0%)

9月カナダ中古住宅販売件数 (前月比) -1.4% (前回 1.8%)



(出所: ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、9月の米小売売上高やNY連銀指数が市場予想より大きな下落率を示し、米経済への先行き懸念から比較的安全な通貨とされる円を買い、ドルを売る動きが優勢となっている。

22 : 33

米主要株価

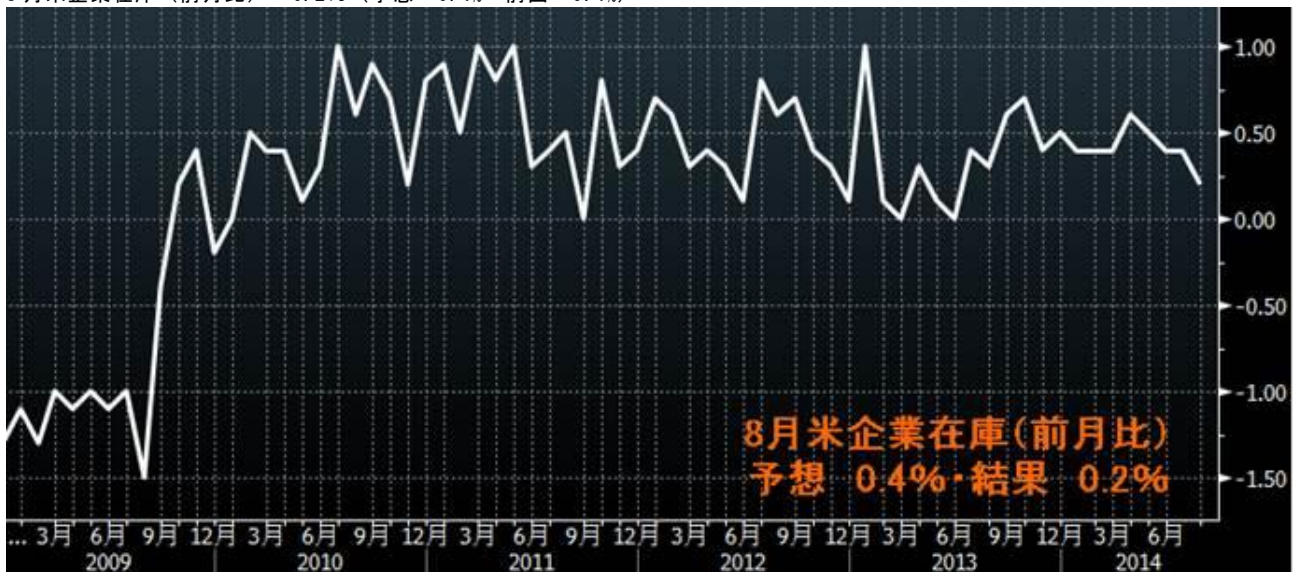
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16051.04	-264.15
ナスダック	4150.15	-77.02

(出所:SBILM)

23 : 00

《 経済指標の結果 》

8月米企業在庫(前月比) 0.2%(予想 0.4%・前回 0.4%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《 米企業在庫 》

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	前年同月比
企業在庫	0.2	0.4	0.4	0.5	0.6	0.4	5.7
製造業	0.1	0.0	0.2	0.8	0.5	0.2	3.7
小売業	-0.3	0.9	0.7	0.2	0.5	0.1	5.9
自動車・部品	-0.7	2.2	1.5	0.5	1.2	0.0	12.0
卸売業	0.7	0.3	0.2	0.3	1.0	1.1	7.9

	8月	7月	6月	5月	4月	3月	前年同月比
企業売上	-0.4	0.7	0.6	0.3	0.8	1.1	4.5
製造業	-1.0	1.4	0.8	-0.1	0.4	0.4	3.1
小売業	0.6	0.2	0.4	0.4	0.7	1.5	4.8
卸売業	-0.7	0.4	0.4	0.7	1.3	1.6	5.8

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、9月の米小売売上高や製造業の景況指数が市場予想より大きな下落となったことから、米景気の先行き不透明感が強まって売り優勢となった。また、米国内でエボラ出血熱の感染者が2人目となった可能性が報道され、感染拡大への警戒感も圧迫要因となった。ダウ平均株価は、序盤から大きく下落となり、一時前日比で369ドル安まで下落する動きとなった。

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米月次財政収支 1058億USD（予想 900億USD・前回 751億USD）

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) MBA（全米抵当貸付銀行協会）の住宅ローン申請指数は、前週比+5.6%となり、ここ1年余りで最低の水準にある借り入れコストを背景に、借り換え申請が増加したことが要因となった。構成指数の借り換え指数は+10.6%と、6月初め以来の大幅な伸びとなり、一方の購入指数は-0.7%となった。申請全体に占める借り換えの割合は58.9%（前週56.4%）と2月半ば以来の高水準となった。30年固定金利型の住宅ローン金利は4.20%（前週4.30%）と、2013年6月以来の低水準、15年固定金利型は3.41%（前週3.48%）となった。

(2) 9月の米小売売上高は、前月比-0.3%の4426億8900万ドルと、8ヵ月ぶりの減少となり、今年1月以来の大きな減少率となった。前年同月比では+4.3%となった。寒波の影響で年初に減速した後、緩やかな回復基調を続けてきたが、やや失速の兆しが見え始めた。

①品目・業種別では、主力の自動車・同部品が-0.8%と、今年1月以来の大きな減少率となり、建材・園芸も-1.1%と2013年10月以来の大きな減少率となった。ガソリンスタンドは-0.8%、総合小売りは+0.2%、電子・家電は+3.4%となった。

②変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は、前月比-0.2%、前年同月比は+3.1%となった。

(3) ニューヨーク連銀製造業景況指数は6.17と、前月の27.54から低下した。また、市場予想の20.25も下回る結果となった。同指数はゼロが景況の拡大と縮小の判断基準となる。仕入れ価格指数が11.36（前月23.91）、新規受注は-1.73（前月16.86）、週平均労働時間は-1.14（前月3.3）に低下した。一方、雇用者数は10.23（前月3.26）、在庫は2.27（前月-7.6）に上昇した。また、6ヵ月先の見通しを示す期待指数は41.66（前月46.72）に低下した。

(4) 9月の米生産者物価指数は、モノとサービスを合わせた総合で前月比-0.1%となり、2013年8月以来1年1ヵ月ぶりの値下がりとなった。前年同月比では+1.6%となった。サービス需要と食品やエネルギーなどを含むモノの需要がいずれもマイナスとなり全体水準を押し下げた。ただ、前年比では、+1.5%と比較的安定して推移している。

①変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースの総合指数は前月比横ばい、モノは前月から-0.2%となった。

②品目別では、エネルギー製品全体が-0.7%、ガソリンは-2.6%と2013年4月以来の下落率で、食品も-0.7%と2013年9月以来の下落率となった。

③手数料や輸送コストなどのサービスは、前月比-0.1%で、2012年12月以来の下落率だった。サービスのうち、輸送・倉庫が-0.2%、貿易は横ばいだった。サービスの前年同月比は+1.6%だった。

(4) 8月の米企業在庫は、前月比+0.2%の1兆7522億8800万ドルで、市場予想の+0.4%を下回った。前年同月比は+5.7%となった。

①業種別は、製造業が前月比+0.1%と増加幅は今年6月以来の大きさとなり、卸売業も+0.7%となった。一方、小売業は-0.3%と、2013年3月以来のマイナス幅となった。

②自動車・同部品を除く小売業は横ばいだった。自動車・同部品は-0.7%、服飾は-0.7%、家具は-0.3%、百貨店は-0.1%。一方、総合小売りは+0.1%、建材・園芸用品は+0.4%、食品・飲料は+0.2%となった。

③企業売上高は、前月比-0.4%の1兆3533億7200万ドルとなった。前年同月比では+4.5%。業種別は前月比で製造業が-1.0%、卸売業が-0.7%、小売業は+0.6%。在庫に対する売上高の比率は前月から横ばいの1.29だった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6211.64	-181.04
仏 CAC40	3939.72	-148.58
独 DAX	8571.95	-253.26
ストック欧州 600 指数	311.36	-10.17
ユーロファースト 300 指数	1251.87	-41.60
スペイン IBEX35 指数	9838.50	-366.40
イタリア FTSE MIB 指数	18304.99	-850.86
南ア アフリカ全株指数	46673.38	-1013.47

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、米国の小売売上高の落ち込みや景況指標の悪化で世界景気の先行き懸念が一段と強まり、投資家がリスク回避姿勢を強めたことから、主要株価は軒並み大幅下落となった。



(出所: ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16066.02 (-249.17) 、 S&P500 1848.19 (-29.51) 、 ナスダック 4174.47 (-52.70)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、9月の米小売売上高や、ニューヨーク連銀製造業景況指数がいずれも市場予想以上に悪化したことから世界景気の先行き懸念が一段と強まり、安全資産とされる米国債への逃避買いが膨らんだ。米長期金利の指標となる10年債利回りは、一時1.87%まで低下し、2013年6月以来約1年4ヵ月ぶりに2%を割り込んだ。また、30年債利回りは2.67%まで低下し、2012年9月以来約2年1ヵ月ぶりの低水準となった。

午前の利回りは、30年債が2.85% (前日2.95%)、10年債が2.06% (2.20%)、7年債が1.72% (1.88%)、5年債が1.29% (1.44%)、3年債が0.68% (0.81%)、2年債が0.30% (0.37%)。

《ここまでの動き》



(出所: ネットダニアー)

- ①米小売売上高やニューヨーク連銀製造業景気指数が市場予想を下回る結果となり、米経済への先行き懸念から比較的安全な通貨とされる円を買い、ドルを売る動きが優勢となった。また、米国の2人目のエボラ感染者との報道も圧迫要因となった。
ドル/円は一時 105.20 まで下落し、9月8日以来の安値を付ける動きとなった。
- ②急激な下落を受けて、値頃感から買い戻しの動きも見られたことや、米ダウ平均株価が 250 ドル以上下げ幅を縮小する動きとなったことを受けて、ドル/円は一時 106.41 まで値を戻す動きとなった。
- ③その後、欧米の株価が下げ幅を拡大する動きとなり、ダウ平均株価は一時前日比で 460 ドル安まで下げる動きとなったことから、投資家のリスク回避の動きが強まり、安全資産とされる円を買う動きが強まった。円は大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。

3:00

《米地区連銀経済報告 ページブック》

- ・「多くの連銀は全体的な賃金の伸びは緩慢と指摘」
- ・「大半の連銀は個人消費の伸びがわずかないし緩やかと指摘」
- ・「大半の連銀は製造業活動の拡大を報告」
- ・「大半の地区は緩やかないし緩慢な成長を指摘」

3:30

NY 金は、中心限月が前日比 10.50 ドル高の 1 オンス=1244.80 ドルで取引を終了した。

3:50

《 要人発言 》

ダラス連銀総裁

- ・「市場の調整は経済の苦境を意味しない」
- ・「量的緩和再開検討するのはあまりにも尚早」

4:30

NY 原油は、中心限月が前日比 0.06 ドル安の 1 バレル=81.78 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1244.80	+10.50
NY 原油	81.78	-0.06

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、米国株の急落につれて、比較的安全な資産とされる金に資金を避難させる動きが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して下落し、ドル建てに割安感が出たことも支援材料となった。終値ベースでは、9 月 10 日以来、約 1 ヶ月ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、小売売上高などの米経済指標が市場予想より悪い内容だったことで、米景気の回復ペースが鈍化しエネルギー需要が低迷するとの懸念から、売りが優勢となった。また、米国株の大幅下落となったことも圧迫要因となった。一時、2012 年 6 月以来約 2 年 4 ヶ月ぶりの安値水準となる 1 バレル=80.01 まで下げる場面もあった。その後は、ドルが主要通貨に対して下落したことから、ドル建て原油の割安感から買い戻しも入った。



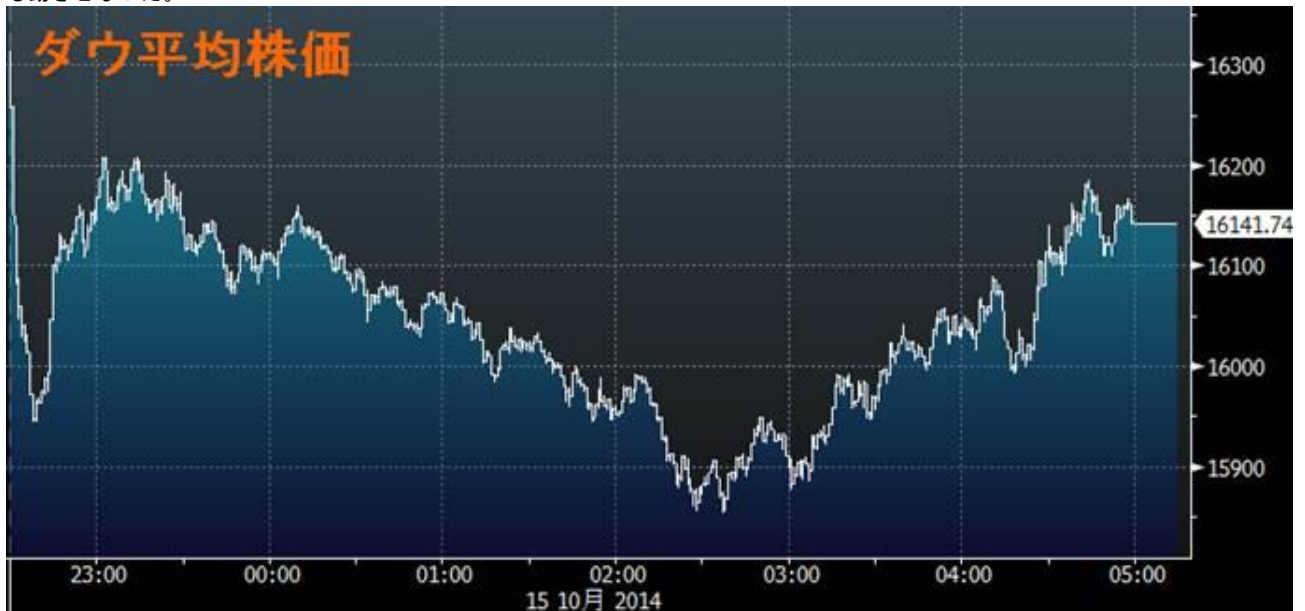
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16141.74	-173.45	16313.30	15855.12
S&P500 種	1862.49	-15.21	1874.18	1820.66
ナスダック	4215.32	-11.85	4231.54	4116.60

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、9月の米小売売上高や製造業の景況指数が市場予想より大きな下落となったことから、米景気の先行き不透明感が強まって売り優勢となった。また、米国内でエボラ出血熱の感染者が2人目となったとの報道を受けて、感染拡大への警戒感も圧迫要因となった。主要株価は軒並み大幅下落となったものの、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から大きく下落となり、一時前日比で460ドル安まで下落する動きとなった。しかし、引けにかけては大きく下げ幅を縮小する動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	135.99	136.04	135.14
EUR/JPY	169.64	170.40	168.03
GBP/JPY	93.55	93.58	92.18
AUD/JPY	84.62	84.78	83.84
NZD/JPY	1.2844	1.2888	1.2665
EUR/USD	0.8835	0.8861	0.8717
AUD/USD	135.99	136.04	135.14

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が悪化したことを受けて、米経済の先行き懸念を背景に、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなった。ただ、欧米の株価が大きく下落したことから、リスク回避の動きも強まり、円が買われる動きとなった。そのため、クロス円も軟調な動きとなった。しかし、終盤には株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。